

項目	観点	教科書名	
1 学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について	○平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成するために、どのような配慮がされているか。	<p>新編 新しい社会 地図(2・東書)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各ページにキャラクターを配置し、資料の読み取りのポイントや問いを示すことで、資料を読み取る力や主体的に学習に取り組む力を高めることができるようになっている。 1枚の地図から読み取る問いや複数の地図を比較検討する問い、自ら調べたり、考えたりする問いなどの様々な種類の問いが用意されている。 SNSの利用者数やインターネット利用者の割合など、現代社会の特徴を表す資料を掲載し、現代社会の諸課題に向き合う工夫がされているとともに、同一のページにテーマごとにまとめて配置することによって、自ら課題をとらえ、比較検討し、考えをまとめることができるように工夫されている。 	<p>中学校社会科地図(46・帝国)</p> <ul style="list-style-type: none"> グローバル化や少子高齢化、情報化などの現代社会の特徴について考察できる資料が掲載され、現代社会の諸課題を認識しやすい工夫がされている。 平和教育や人権尊重への意識付けのために、「各国のあいさつの例」や宗教に関する資料などを掲載している。 日本の地方ごとに発展的な学習を行うことができるように、地理的分野だけでなく歴史的分野や公民的分野に関連するコーナーを設け、多面的・多角的に社会的事象を考察するつくりになっている。 自然災害や防災についてのページが設けられ、ハザードマップと地形図の比較から防災における地図の有用性を理解することができるように工夫されている。 日本の一般図には、伝統や文化に関する絵文字が多数掲載され、伝統・文化の継承と発展について考えるとともに、社会参画の意思を高める工夫がされている。
2 内容の程度及び取扱いについて	○主体的・対話的で深い学びを実現するためにどのような工夫が見られるか。	<ul style="list-style-type: none"> 現代社会の諸課題について、SDGsのマークを該当箇所に配置し、生徒が社会的諸課題についてイメージしやすくなるように工夫されている。 世界や日本の学習で、テーマを設けて考察する際に、比較検討や関連付け、比較検討ができるように、主題図やグラフなど様々な資料が用意され、主体的・対話的な学びが実現できるように配慮されている。 関連した資料のページを示す「ジャンプ」が設けられており、主体的に深く学ぶ工夫がされている。 四大文明の栄えた地域を確認する問いなど、地理的分野以外の分野と関連が深い問いを用意することで、分野を横断した学習を行うことができるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な社会の実現のために、世界全体の課題を考察する際に、主体的・対話的な学びができるように、前半に特集ページを7ページにわたって設けている。 現代社会の諸課題について、SDGsのアイコンを該当箇所に配置し、生徒が社会的諸課題についてイメージしやすくなるように工夫されている。 世界の諸課題を考える際に、選択・関連付け、比較検討ができるようにテーマごとに主題図や写真を掲載している。 「地図で発見！」のコーナーを各所に設けて、社会的な見方・考え方を働かせる問いから主体的に学習に取り組むことができるように工夫されている。 巻頭と巻末の資料図では、誌面のタイトルわきに「学習課題」を設け、そのページで扱うテーマを追究する際の着眼点を示している。 自然環境や生活・文化、産業などのイラストを配した鳥瞰図を配置し、関心を高めて取り組めるよう工夫されている。
3 内容の配列・分量	○単元の構成や教材の配列にはどのような特色があるか。	<ul style="list-style-type: none"> 一般図、鳥瞰図、基本資料、テーマ資料、写真、統計などが掲載され、それぞれの地域についての特色を示している。 基本的には、地理的分野の教科書の構成に沿った配列(世界全体⇒世界各州⇒日本各地方⇒統計)で掲載されている。 教科書の学習テーマに応じた資料を多く用意することで、教科書と関連付けた学習ができるようになっている。 原子爆弾投下時の長崎市や江戸時代の大阪の地図が掲載されているなど、歴史的分野や公民的分野とのつながりも強い。 巻末「日本の周辺」の地図上に、島の写真とともに領土問題について詳しい解説を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 一般図、鳥瞰図、資料図、写真、統計などが掲載され、それぞれの地域についての特色を示す構成となっている。 資料図が同縮尺で示されており、図の比較や検討、関連付けができるようになっている。 修学旅行や校外学習に活用できる資料が掲載されている。 実際の地形図を取り上げ、作業を通して地形図の見方を身に付けられるコーナーが設けられている。 東西南北端を含む日本の領土や、広大な排他的経済水域をとらえられる地図や、領土・領海・領空・接続水域等の領域の概念が端的に理解できる模式図が掲載されている。 地図帳の構成や、方位、地図記号、縮尺など、地図帳の基本的な見方・使い方が巻頭に分かりやすくコーナー化されている。
4 表記・体裁・資料	○用語や写真、動画・音声やアニメーション等のコンテンツなどの使用上の便宜等については、どのような工夫が見られるか。	<ul style="list-style-type: none"> QRコンテンツには、デジタル地球儀やデジタルマップ、白地図、国旗のクイズなど生徒たちが自主的に学習に取り組むことができる様々な工夫がされている。また、同出版社の教科書の誌面へのリンクも設定されており、地図帳と教科書を関連付けながら学習を行うことができるようになっている。 A4版の大判化の地図帳で、アフリカ州のページに歴史的なつながりの強いヨーロッパ州も掲載するなど、地域の結び付きをより重視した図取りになっている。 日本の各地方ごとの縮尺が100万分の1で統一されている。 巻頭に世界地図、巻末に都道府県の県庁所在地を掲載し、小学校の学習を復習しながら学習を進められるようになっている。 明るい色使いを採用して文字の可読性を高めるとともに色覚特性がある生徒にも区別しやすい配色にするなど、ユニバーサルデザインフォントが採用されている。 	<ul style="list-style-type: none"> QRコンテンツには、白地図や国旗のクイズなど簡単な問いから、白地図や統計資料、NHK for Schoolへのリンクまで自主的に学習に取り組むことができる様々な工夫がされている。また、同出版社の教科書の誌面へのリンクも設定されており、地図帳と教科書を関連付けながら学習を行うことができるようになっている。 A4版の大判化の地図帳で、地域の結び付きをより重視した図取りになっている。 全編にわたってユニバーサルデザインを使用し、色や文字の書体、大きさなどを見やすく工夫している。 鳥瞰図にイラストが多数掲載されており、地域的特色を大観し、概略をつかめるようになっている。特に、農水産物や伝統的工芸品などの絵文字が大きく示されている。 手話で話すコーナーが設けられ、インクルーシブ教育に配慮されている。 資料図の縮尺が統一されており、比較できるようになっている。